

2020年4月

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正明

## 2020 年度新入社員向け社長挨拶(ビデオメッセージ)

入社おめでとうございます。

本日、希望に燃えて入社した皆さんを、クラレグループに迎えることができ、本当に嬉しく思います。毎年この時期、キラキラした眼で入社してくる皆さんと話をするのは大変楽しく、幸せを感じるひと時です。今回は新型コロナウイルスの問題があって、こうしてビデオでメッセージを送ることになったのは、誠に残念なことではありますが、グループを代表して挨拶を申し上げます。

まず始めにヤマメとサクラマスのお話をします。精神科医で随筆家の斎藤茂太さん、この人は同じく精神科医で歌人(和歌を詠む人)であった斎藤茂吉さんの長男ですが、この人が語った話を引用します。

『大きくても30センチほどのヤマメと、その倍の大きさになるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存知ですか？川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに、大型化したのがサクラマスなんだそうです。そのときは負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと思えば、そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグーンと大きくなっているはずですよ』という話です。

皆さんは勝ち・負けではなく、それぞれが置かれた立場、配属された部署で自分自身の成長を目指してください。今日、同期として入社した誰かと競争して勝った、負けたなど言ってみても意味はありません。それぞれに与えられる職務、仕事内容は違っているのですから、同期同士で同じレベルや低い目線のところで競争するのではなく、互いの異なる部署での経験を活かし、協力し合って高いレベルの成長を目指してもらいたいと思います。

ここで、少し話題を変えます。皆さんは何のために働こうと考えていますか？皆さんは少し考えてから、まずは生活の糧を得るため、或いはもっと良い生活をするため、または楽しく生きるために働く、というような答えを返してくれることでしょうか。しかし、これをもっと大きく捉え直すと、我々は幸せになるために、幸せな生活、幸せな人生を送るために、クラレグループで働いているのだと私は考えています。つまりは自分のために働いているのです。間違っても会社のために働いている、などとは思わないでください。今は勿論そのような考えはしていないでしょうが、何年か働くうちにそのような勘違いをする人が出てくるのです。

また時間は、すべての人に等しく与えられた大事な資源です。皆さんはこれから、自分の人生の貴重な時間を使って、仕事をし、家族・家庭を育み、地域との関係を築き、そして自

分自身の成長を目指すことでしょう。勿論、娯楽やレジャーに時間を使って心身の健康維持を図ることに気を配らなくてはなりません。

人生を「より良く生きる」ため、皆さんがこれから時間をどのように使うかは大変重要です。特に会社における働き方は大切です。一人ひとりが、限られた時間を大事に使って、価値の創造と自己の成長を目指しながら、「働き甲斐」「生き甲斐」を実感できるように頑張っていたきたい。

さて、次にこれから皆さんが社会人生活を送る上で、仕事に取り組む際の心構えについて、4つ話をします。

まず1番目は「よく聞く」ということです。私は「よく聞く」ということを大切にして、仕事をしてきました。

ホンダの創始者である本田宗一郎さんもこう言っています。

「なまじっか学校に行っていると、裸になって人に聞けない。そこで無理をする。人に聞けばすぐにつかめるものが、なかなかつかめない。そんな不経済なことはない。僕の特徴は、ざっくばらんに人に聞くことができるということではないかと思う」

本田さんは高等小学校を卒業してすぐに働きだしたので、働きながら身につけた知識をもとに、今のホンダの基礎を創った人です。だからこそ、人から教わる、人の話を聞くことを大切にしたいのだと思います。

私自身も、これまで数々の経験を通して、知らないことを聞くのはまったく恥ずかしくなくなりました。また、率直に頭を下げて教えを請えば、大多数の人はそれに応えて、親切に教えてくれるということも学んできました。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉もあります。

また上司や先輩の意見には素直に耳を傾け、その背後にある考え方までも掴み取るように真剣に聞くことです。通り一遍に話を聞いたり、聞き流してしまうと、真意を理解できずに勘違いからミスをしてしまうことになります。また、皆さんが真剣に聞こうとすれば、話す側もより懇切丁寧に、その意味するところを教えようとしてくれるはずで、初心を忘れずに聞くということを心がけてください。

2番目は「小さな仕事を大切に」ということです

「そんなつまらないことをするために、この会社に入ったのではない」というようなことを言う人がいます。しかしそれはとんでもない間違いです。小さな仕事もキチンとできない人に大きな仕事を頼む上司はいません。小さな仕事であっても誠実に真剣に取り組んで仕上げる、この積み重ねの過程で信頼を勝ち取ることが大切です。信頼を得られれば、少しずつ大きな仕事を任せてもらえるようになっていくでしょう。初めは雑用と思われるような小さな仕事も多いでしょうが、不平不満を言わず、また疎かにすることなく、誠実に向き合っ取り組んでください。

大きな仕事も、小さな初めの一歩があってこそです。

3番目は「仕事に取り掛かる前から、できないと言わない」ということです。

皆さんに与えられる仕事は皆さんの能力や仕事量を考慮しながら、上司・先輩が用意してくれるものです。それを自分ができるとかできないとか、判断するだけの経験は皆さんにはないし、そんなことを考える必要はないのです。とにかく、精一杯取り組んでみる。わからないことは周囲の皆さんに聞きながら、必死でやってみる、その姿勢が大事です。これは無理だと判断したら、上司・先輩が助けてくれます。或いは、もう少し他で経験を積んでからの方がよいとなれば、仕事の順序を入れ替えてくれます。また、あなた方がこの仕事に向いていないとなったら、配置転換も考えてくれるでしょう。

ですから、自分自身は与えられた仕事から逃げずに、精一杯に取り組むことです。取り組む前から悩んで手を拱いていると、ドンドン大きな難しい仕事に見えてくるのです。言われた瞬間は大変な仕事だと思ったけれど、取り掛かってみたら意外とスムーズにできた、ということになれば、しめたものです。言われた仕事はとにかくできるだけ早く着手してみることが大切です。

4番目は「失敗を隠すな。失敗から逃げな」ということです。

先ほど紹介した斎藤茂太さんはこんなことも言っています。

『人生に失敗がないと人生を失敗する』

皆さんはこれから仕事をして行く上で、たくさんのエラー・失敗をすと思います。今まで十分な経験を積んでいないのですから、失敗することはある意味仕方がないことでもあります。そういった失敗の経験を積み重ね、失敗してもへこたれない失敗耐性を身につけておかないと、人生に失敗することも起こりうるということです。

例えば、プロ野球や高校野球でエラーをした選手はどんな行動を取っていますか？必死になってボールを追いかけ、ランナーの進塁を少しでも止めようとしていますよね。自分のミスからボールを敵に奪われた J リーガーや B リーグのプレイヤーはどんなアクションを取っていますか？ボールを奪い返そうと、必死になって相手を追いかけていますよね。つまり被害を少しでも小さくしようとしているのです。

皆さんも失敗した時には、そこから逃げ出したり、そのことを隠そうとしたりせずに、少しでも早く被害の拡大を抑える対策に取り掛かることが大切です。それと同時に、できるだけ早く上司・先輩に報告することも忘れないでください。失敗を挽回しなければならない場面でも、経験の少ない皆さんよりは、数多く失敗を経験してきた上司・先輩の方が、早くて有効な対策案を出す知恵はたくさんあるはずですよ。

もし失敗しても、素直にアドバイスに耳を傾けて、必死に挽回しようと頑張っている姿を見た上司や先輩は却って皆さんの姿勢を好感して、色々教えてくれたり助けられたりするのです。そしてそんな事を通して、皆さんに対する信頼感ができてくるのです。失敗から逃げたり、隠したりする人と仕事をしたいと思う人はいません。このことは、決して忘れずに仕事に取り組んでください。

4つの心構えを話しました

「よく聞く」ということ

「小さな仕事を大切に」ということ

「仕事に取り掛かる前から、できないと言わない」ということ  
「失敗を隠すな。失敗から逃げるな」ということ  
この4点を、肝に銘じて実践していただきたいと思います。

締めくくりの前に、もうひとつ話しておきます。

皆さんは入社したばかりなので、まずは自分の健康を損ねないこと、仕事の現場で怪我をしないことが第一です。健康管理をしっかりとやりながら事業所での実習の間、大きく眼を見開いて色々なことを見ていただきたい。

クラレグループは、「安全はすべての礎」という言葉を行動原則として掲げ、従業員の皆さんが安心して操作できる設備や機械を設置し、さらに安全に作業ができるよう改善活動や投資を行っています。そして、クラレグループの全社員が安心して働ける明るい職場環境の整備と制度の充実に取り組んでいます。

またクラレグループは、その生産活動によって近隣住民の皆様の生活環境に影響を及ぼすことが無いよう、安全で安定した生産活動を追求し、排出物や騒音の低減などの環境保全活動を推進しています。

これらの活動も含めて、メーカーの根本である生産活動を担っている事業所で、先輩社員の苦労を身近に感じて実習することは大変有意義だと思います。この実習を通して、自分の眼で見ることと自分の頭でよく考えること、そして行き詰まったら素直に教を乞う姿勢を身につけて、1日も早く立派なクラレパーソンとして自立できるよう頑張ってください。

7月に予定されている配属前の集合教育の際、新型コロナウイルスが収まっておれば、直接会って話をしたり、会食をしたりしたいと考えています。それまで、元気で頑張ってください。

以上、皆さんの入社に際して、私の挨拶と激励の言葉といたします。

以上